

三里塚で勝利！戦争への道を阻止しよう 投稿

日刊 動労千葉

83.10.5

No. 1459

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

世界中に核戦争を挑発してまわる、洋上核基地、カールビンソン佐世保寄港阻止闘争に参加して

「動く洋上核基地」世界最大の米核空母カールビンソンの佐世保寄港という、日本の労働者人民への絶対許せぬ大反動挑戦に対し、動労千葉青年部は第六回定期委員会の決議にふまえ、断固として10・1/2カールビンソン佐世保寄港阻止闘争を闘いぬいてきました。参加した青年部員五名を代表して、津田沼支部N君の闘争報告を紹介します。

動労千葉代表も怒りの洋上デモを貫徹

われわれは、権力・機動隊・私服警官の不当な検問、弾圧をはねのけ全国から結集した三里塚を闘う労働者、学生とともに「人民列車」に乗りこみ、佐世保に向った。

早朝五時に佐世保に到着。七時より島の瀬公園でカールビンソン佐世保寄港阻止全国実行委員会主催による全国総決起集会に参加した。

主催者代表の小西武夫氏（九州実行委代表）は「私自身も中曽根も戦争を経験している。しかし、二度と侵略戦争を繰り返さないためにも、命をかけてカールビンソンを阻止するという立場にたたくてはならない」と強く訴えた。

その他に、九州実行委の伊東鉄東氏、三里塚反対同盟の宮本よしみさん、動労千葉田中青年部長そして、東大阪市議選に勝利した、解同荒本支部長瀬川氏の当選報告などが行われ、集会は大成功をかちとった。

さらに、佐世保市内を権力・機動隊の弾圧をはねのけ断固たるデモを貫徹した。また海上では、佐世保の海を守る会の松本栄二氏を先頭として、三隻の船でカールビンソンに対する怒りの海上デモを行った。翌日は、動労千葉の代表も船に乗りこみ、びしょびしょになりながら闘い抜いた。

動員が激減し、闘う労働者人民に弾劾された動労「本部」革マル

この集会を突破口として、午後からの反安保・反基地・原子力空母カールビンソン寄港抗議集会、翌二日午前十一時から、総合安保体制打破・カールビンソン寄港阻止青年婦人総決起集会、午後一時からの寄港抗議西日本集会（すべて総評系の県・地区労主催）に合流し、三度にわたるデモを貫徹した。

同時に、われわれは日帝・中曽根打倒への決定的突破口が三里塚闘争であることを、街宣、ビラ

まきで訴え、10・9三里塚への結集を呼びかけた。ところが、一日の午後の集会に、日帝・公団の手先となり、反対同盟を分裂させ、三里塚闘争を「話し合い」にひきずりこんで破壊しようとする脱落派が権力・機動隊に守られて登場し、怒りの糾弾を浴びた。

また、二日、動労「本部」革マルは、関西動員をもつてしても二百名足らずの動員者でアリバイ的に参加してきた。横断幕たるや、大韓航空機事件で、ソ連弾劾をまっ先にデカデカと掲げ、カールビンソンは最後にチョコッとつけたしたにすぎない反ソ反共主義で、会場全体から糾弾された。こうした権力・革マル・脱落派・右翼の敵対を粉砕し、侵略戦争を阻止し、日帝・中曽根を打倒する道は三里塚闘争を全国から集った労働者人民に訴え、10・1/2佐世保闘争は大勝利した。

10・5/6定期大会を成功させ、10・9三里塚へ総決起しようではないか。



佐世保現地で開かれた労働者市民漁民の総決起集会で決意をのべる動労千葉田中青年部長